



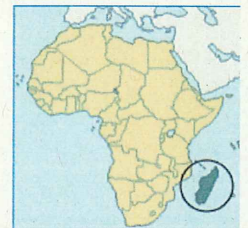
# Inona ny vaovao?

イヌナ ニ バオバオ?  
何か良いことあった?

マダガスカル 青年海外協力隊 通信 第7号 (2018/5/15) 福長 輝倅

今回のテーマ：マダガスカルのすごいくせ（習慣） ここはくせがすごいんじや。

福長 輝倅 (FUKUNAGA TERUYUKI)	マダガスカルってどんなところ？
隊次：2017年度2次隊	公用語：マダガスカル語・フランス語
活動国：マダガスカル	人口：約 2500 万人 (日本の6分の1ほど)
赴任地：アンズブルベ	国土：587, 000 km <sup>2</sup> (日本より大きい!)
(首都から約3時間)	首都：アンタナリボ
職種：コミュニティ開発	宗教：キリスト教及び伝統宗教、
前職：教師(非常勤/社会科)	少数派イスラム教
出身：岡山県・岡山市	民族：約18部族



## ① 日常生活編 - 食べ方から散歩まで「くせ」がすごい-

マダガスカルに住んで早7か月。ようやく見えてきた「くせ」をご紹介します。



### 骨はテーブルの上に

マダガスカル人はよく、食べかすの骨をテーブルに置きます。理由はわかりませんが、骨はテーブル、くせが濃いんじや。



**家みたいなお墓** これはくせではない。しかし、マダガスカルのお墓はめちゃデカイ。高さ2メートル、横3メートルほどあります。覗けば、中で生活できるサイズ。



**田んぼにバナナ**：田んぼの目の前のある木は、バナナの木。稲と育てるとおいしくなる。わけではなく、田んぼではなく畑の土をよくするためらしい。けど、絶対バナナ以外にいい木が他にもある気がする。



**改造高速自転車** 後ろから何か追いかけてくる。自転車だ。普通の自転車も、変速機を改造しすぎてめちゃめちゃ速い。逃げられない。自転車によって変速機の位置が違うので見てみよう。



### 豚に足輪 (ぶたにあしわ)

豚に真珠 (無意味であること)  
豚に足輪 (財産を守ること)



### ペットボトル・ガソリン

マダガスカルはガソリンスタンドがあまりありません。なので、売店でペットボトル・ガソリンをみんな購入。みんなガソリンをダイレクト注入。日本ではこんなこと危なくてできませんし、捕まります。

## ② 学校編 - 1に整列、2に定規をむしゃむしゃ、3に人差し指を突き上げよう -

活動として学校にほぼ毎日訪問していますが、マダガスカルの特徴な「くせ」が学校にはあふれています。



### 授業前は軍隊のように整列

「全員前ならえ。休め。再び前習え。安め。よーし、入ってよし！」  
といった号令を代表の子供が行い、授業前には整列します。日本では、チャイムの音に合わせて教室に入りますが、マダガスカルは笛の音で整列します。僕はこの様子が可愛くてすごく好きです。僕がふざけていると、子供に怒られました。ちゃんと整列できる大人になりたい。



### 定規とボールペンをむしゃむしゃ

元教師の僕がいうのもなんですが、授業ではつまらなくなる時がありますよね。そんなときは運動場を見たり、友達にちよっかいかけたり。  
しかし、マダガスカルの小学生は違います。定規とボールペンをよくむしゃむしゃします。定規なんか、噛み過ぎて線がまっすぐ引くことが出来ない子供がたくさんいます。ぼろっぼろです。手ぐせもくちぐせも悪いです。



### 人差し指を突き上げたら意見の合図

日本では、「はい！」と言い手を挙げたら、意見がある合図ですね。ですが、マダガスカルでは、まず「人差し指」を立てます。そして、突き上げます。これで意見がありますの合図は完了。それでも先生があててくれなかったら、「ザ！ザ！ザ！」と叫びます。ザとはマダガスカル語で「私」という意味。世界のどこでもこどもは「私、私！」と元気があるのは可愛いです。

## ③ 活動について -日本祭り-



マダガスカルの青年海外協隊は、いろんな地方で「日本祭り」を行っています。何をするかというと、日本文化の紹介や栄養の啓発活動、作成した商品の販売などを行っています。一番大事なことは、現地の人に日本について知ってもらうこと、そして仲良くなること。今回は「ソーラン節」と「炭坑節」をマダガスカル人と踊りました。

しかし、海外にいるとたまに思います。「あれ、僕は日本をアピールできるものが何もないや。」例えば、空手や柔道が出来るとか、書道ができるとか。今からでも、何か日本の文化を紹介できる準備できたらいいですね。

## ④ 地面が割れている - 植林を始めよう -

茶色の大地が大きく割れている。ここはマダガスカルのグランドキャニオンと、勝手に僕が呼んでいる道です。実は、ここが小学生の通学路になっています。なぜ割れているかというと、木を切りすぎて山が崩れているからです。「じゃあ木を切らなくしたら？」そうすると、ガスを使えないマダガスカルの人は生きていくことが出来ません。「じゃあ、木を植えたら？」みんな、なかなか「植林」の大事さは分からない。しかし植えるしかありません。マダガスカル人と一緒にできる「植林」の方法を考えていきたいと思います。

